



鼻はなでにおいかんを感じるかんのはどうして

鼻はなにおいかんを感じるかん細胞さいぼうがあるから

鼻はなでにおいかんを感じるかんのは、鼻はなの中なかに、嗅覚器きゅうかくきとよばれるものがあるからです。嗅覚器きゅうかくきは、鼻はなのおくおくの天井てんじょうの部分ぶぶんについており、ここには嗅覚細胞きゅうかくさいぼうというにおいを感じる細胞さいぼうがあります。嗅覚細胞きゅうかくさいぼうには神経しんけいがきていて、嗅覚細胞きゅうかくさいぼうで感じたにおいかんは神経しんけいを通して脳のうに伝えられ、脳のうでにおいかんを感じるかんというわけです。つまり、鼻はなでにおいかんを感じるかんのは、吸いこんだ空気くうきにふくまれるにおい物質ぶつしつが、鼻はなのおくおくの嗅覚細胞きゅうかくさいぼうにあたり、それが脳のうに伝えられるからだといえます。

かぜをひくと、においがわからなくなるのは

かぜをひいて鼻水はなみずが多おほくなると、においがわからなくなります。これは、においを感じるかん嗅覚器きゅうかくきが、鼻水はなみずでおおわれてしまうからです。においを感じるかん嗅覚器きゅうかくきは、空気くうきにふくまれるにおい物質ぶつしつを感じるかんため、嗅覚器きゅうかくきが鼻水はなみずでおおわれて空気くうきにふれなくなると、においがわからなくなるのです。（監修・保志 宏）

